

①地域金融機関連携支援モデル

他の信用金庫が有する優れた技術力等を持つ企業を支援する取り組み事例・スキーム等を学ぶ機会を設け、信金中金本部の協力の下、信用金庫間の広域連携により取引先企間の橋渡しを行い、ビジネスチャンス拡大を図り、相互の企業の成長支援を行います。

当モデルにおいて連携した信用金庫は以下の通りです。

- ・呉信用金庫(<http://www.kure-shinkin.jp/>)
- ・但陽信用金庫(<http://www.tanyo-shinkin.co.jp/index.html>)
- ・信金中央金庫(<http://www.shinkin-central-bank.jp/>)

地域活性化支援制度「幸運」(Good Luck)



- 助成額は、計画する事業・活動資金(予算)の2分の1以内で最高250万円まで(使途制限、報告義務なし)
- 年間助成額は1,500万円(若干の増減あり)で、呉信用金庫から全額寄付される
- 年2回募集(3~4月および9~10月)、各回の助成額は750万円を目安とする

助成実績

<贈呈式 助成先集合写真>

	申込数	助成数	助成金額
平成18年度	25先	12先	15,000千円
平成19年度	36先	16先	15,000千円
平成20年度	33先	16先	15,000千円
平成21年度	42先	16先	16,900千円
平成22年度	43先	17先	15,650千円
平成23年度	49先	16先	14,830千円
平成24年度	44先	15先	14,960千円
合計	272先	108先	107,340千円

1先平均:約100万円

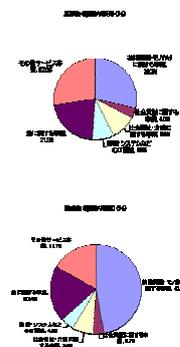


助成先等の分類

	応募先数	助成先数	応募先(%)	助成先(%)
技術開発・モノ作りに関する事業	78	51	28.7%	47.2%
社会性関に關する事業	11	4	4.0%	3.7%
社会福祉・介護に關する事業	27	8	9.9%	7.4%
情報・システムなどのIT関連	23	5	8.5%	4.6%
食に関する事業	58	22	21.3%	20.4%
その他サービス事業	75	18	27.6%	16.7%
合計	272	108	100.0%	100.0%

応募先272先のうち、「技術開発・モノ作りに関する事業」が最多の78件、「その他サービス事業」が75件と続く。

助成先108先については、「技術開発・モノ作りに関する事業」が最多の51件、「食に関する事業」が22件と続く。



成功事例

- ① 靴下製造業者
産学連携による転倒防止靴下の開発と販路拡大
- ② 産業用ロボットのOEM製造業者
下請け脱却のための自社製品(アームロボット移動用スライダ)の開発と販路拡大
- ③ 牡蠣卸業者(若手後継者)
牡蠣の端境期を埋めるための通年商品(地元特産のジャガイモと牡蠣を使った土産用煎餅)の開発と販路拡大
- ④ 婦人服販売業者(若手後継者)
本業不振を埋めるための異業種商品(地元特産のジャガイモと日本酒を使ったレトルトカレー)開発と販路拡大

助成先の組織化(アクティブクラブ)

<会員>

- ・ 「幸運」助成先または地域のチャレンジャー

<目的>

- 会員間で意見・情報交換、指導・助言等を行い、相互に協力し合うこと
- 会員相互の事業発展と地域の起業家の支援・発掘

<活動>

- 「アクティブクラブ」=年2回開催。毎回講師を招いて経営等に関するセミナーを行い、その後懇親会を実施
- 「アクティブ市場」=会員の製品やサービスを呉信用金庫のロビーやギャラリーに展示

